

町自連まつえ

人口: 199,967人
 自治会数: 887
 世帯数: 91,139世帯
 加入世帯数: 54,002世帯
 自治会加入率: 59.3%
 令和3年4月30日現在

第24号 令和3年6月30日発行

発行 / 松江市町内会・自治会連合会

ごあいさつ

松江市町内会・自治会連合会

会長 亀城 幸平



松江市町内会・自治会連合会は、二十九公民館区の町内会・自治会の連

合組織で、それぞれ地域性の違う自治組織の集まりですが、地域住民が「元氣」で、「安全」で、「安心」して住める地域づくりを目指しています。

主な活動として、情報交換、研修・視察、市議会の皆様との意見

松江市長挨拶

上 定 昭 仁



市民の皆様から温かいご支援を賜りまして、四月二十四日に松江

市長に就任いたしました。全国的、世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るう難しい状況にあります。市民の皆さまが将来への展望や夢を持って日々穏やかに暮らすことができるよう、全力を尽くしてまいります。

また、四月一日には島根町加賀

交換、さらに行政当局への要望および連携などを行っています。

さて、新型コロナウイルス感染症の発生から既に一年半が経過し、その間、大方の事業が中止・縮小を余儀なくされてきました。

いまだに先が見えない状況ではありますが、今年度は工夫をし、できる形で各事業を進めてまいります。

地域の安全・安心は、平素のコミュニティを通し育まれると言われております。

これから、アフターコロナを視野に入れた地域づくりを目指します。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

で大規模火災が発生し甚大な被害がもたらされました。大変な惨事にあつて、一人の命も失われなかったのは尊いことであり、町内会・自治会を中心とする地域におけるまとまり、団結力の賜物と考えております。

市としましても、これを契機として、町内会・自治会あるいは公民館、消防団を起点とした防災への取り組みに力を入れてまいりますので、今後とも、より一層のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

加賀大火 多大なる援助に感謝

直接的な被害がなかった私でさえも、風の音が聞こえるとあの日を思い起こして心がざわつきます。被災された方々を思うと、穏やかな日常の生活や思い出、町並みや文化・・・失われたものが大きすぎて記すことばが見つかりません。ご健康と今後のことが心配です。

人的被害が無かったこと、町内外のたくさんの方々からの義援金や義援物資、ボランティアなどのご支援、そして新しい町づくりに向けた上定市長の言葉、それが私たち今の心の支えであり励みです。多大なる援助に感謝し、今後ともさまざまな場面での皆さまのご支援をよろしく願います。

島根地区自治会連合会
 会長 山田 和彦

町内会・自治会の活動については

松江市町内会・自治会連合会
 ホームページをご覧ください →



facebook



松江市町内会・自治会連合会
 @chojiren



松江市内会・自治会連合会はこれからも様々な課題に取り組みますのでよろしくお願いたします。

(令和三年度役員一同)



会長
亀城 幸平
(鹿島地区)



副会長
松本 光弘
(朝日地区)



副会長
竹内 保雄
(雑賀地区)



副会長
安部 吉輝
(八束地区)



副会長
折田 昌弘
(城西地区)



常任理事
森 正剛
(津田地区)



常任理事
中島 秀夫
(川津地区)



常任理事
川谷 一寛
(古江地区)



常任理事
福間 弘倫
(忌部地区)



常任理事
安田 勉
(白湯地区)



監事
角田 一雄
(竹矢地区)



監事
門脇 勉
(本庄地区)



理事
林 繁幸
(八雲地区)



理事
白石 照雄
(城北地区)



理事
熱田 幹裕
(大庭地区)



理事
大西 高志
(美保関地区)



理事
玉木 克廣
(大野地区)



理事
田中 重隆
(城東地区)



理事
松崎 均
(秋鹿地区)



理事
石富 修
(宍道地区)



理事
山本 啓行
(乃木地区)



理事
福田 信夫
(生馬地区)



理事
矢田 幸治
(持田地区)



理事
古藤 弘巳
(朝酌地区)



理事
引野 正之
(東出雲地区)



理事
金築 孝
(法吉地区)



理事
篠原 栄
(古志原地区)



理事
山田 和彦
(島根地区)



理事
山本 祥宏
(玉湯地区)

編集後記

加賀大火では、被災されたかたがたには心よりお見舞い申し上げます。

強風と通路の狭さも重なりながら一人の犠牲者も出なかったことは、出火当時、近隣に声を掛け合っで避難したことだと聞きました。このことは日頃から声を掛け合う集落で有り、自助、共助を實踐している証です。

一方、市の中心部は自治会への加入率が低下し、近隣住民の付き合いが希薄になっています。今後加入率増加に向けて努力し、日頃から話の出来る街にする必要を感じました。

新型コロナウイルスもワクチン接種が開始されました。収束し早く自由が戻ることを期待します。

全国的にも松江は感染者が少なく、我慢の出来る市民だと感じます。

「町自連まつえ」を前号から紙面を大幅に変更した結果、多くの方から反響が有り、各種の広報紙を読んだことのない方まで「うちの会長はあの人だったのか」など。

今後ともご愛読お願いいたします。

(編集)「町自連まつえ」広報担当

(折田昌弘・福間弘倫・安田勉)

町自連事務局 伍五五―五―一六九

(松江市民生活相談課内)